

株式会社 近藤印刷

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>当社ではSDGsの取組みとして対お客様への環境配慮素材を使用したノベルティや印刷物の企画や提案をしております。様々な出力機と環境配慮された素材情報を掌握しており、まずは情報発信をすることでお客様に【気づき】を与えること、【理解】を得ていただくこと。最終的にはコストをかけて【取り組んで】いただくこと。その説得に十分な内容とストーリーそして貢献性を兼ね備えた形でのものづくり提案を心がけております。社内にはSDGs検定合格者を複数、3R・低炭素社会検定合格者、2030SDGsカードゲームファシリテーター資格取得者が在籍し、本業の製造業ばかりでなく、様々な切り口でお客様のSDGsへの取組みへのサポートを行っております。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 12・13・17	<p>環境配慮型のノベルティの提案や企画・製造。 エコマーク取得製品（グリーン購入法適合製品）の紹介やエコ素材を使用した啓発品・ノベルティの紹介（木材：間伐材など）（PPやPET：再生素材など） （布：フェアトレードコットン・リサイクルポリエステルなど）</p>	<p>環境配慮ノベルティ・印刷物の新規受注を年間50件、既存物から提案によって環境配慮型ノベルティ・印刷物へのシフト受注を年間50件 環境配慮型のノベルティの新製品の提案 年間2品目程度</p>
	社会 4・11・	<p>2030SDGsカードゲームファシリテーターによるSDGsセミナーの定期開催。 参加費用の一部を循環させて子どもたちへの教材をつくり、子どもたち（小学校）へ無償のSDGs授業を展開する。 また、近隣地域の図書館や児童館などにはたらかかけ缶バッジをつくる体験ワークなどを通じて製造業の根幹である「ものづくり」を子どもたちに伝えています。 インターン生の受け入れや会社見学の受け入れなども地域と連携して行っております</p>	<p>SDGsセミナー 年間6回（2か月に1回） ※環境配慮を優先しますのでまん延防止・緊急事態宣言下でないことが開催条件とする 缶バッジ企画 年間 2回程度開催 上記同様、環境配慮を優先しますのでまん延防止・緊急事態宣言下でないことが開催条件とする インターン生受け入れ【適宜 年間6名程度】 会社見学受け入れ【適宜 年間2団体程度】</p>
	環境 12・13・15	<p>リデュース：社用車の減台 社内カーシェアの実施 （個人的営業車の廃止） 消費ガソリン・消費電力からの二酸化炭素排出量を算出し、脱炭素へ向けての取組みを 自社内で周知して従業員レベルまで浸透させて具体的取組みをする</p>	<p>リデュース：社用車の減台 2022年 5台→2025年 4台 社用車ハイブリットカーへのシフト 2022年 0台→2025年 4台 二酸化炭素排出量を2025年までに現状から20%削減（Jクレジット含む）</p>